

令和7年度関東農政局国営事業管理委員会（再評価）「印旛沼二期地区」
技術検討会（第3回）

令和7年7月28日

国営事業管理委員会技術検討会委員長から国営事業管理委員会委員長への答申

【技術検討会の意見】

本事業は、老朽化した基幹的農業用排水施設の再編・更新を行い、農業用水の安定供給と排水不良の改善、用排水施設の維持管理の費用・労力の軽減を図るとともに、併せて関連事業により区画整理を実施することにより、農業生産性の向上と農業経営の安定に資するものである。

既に用排水機場の再編・更新が行われた地域では、施設の機能が維持されるとともに農業用排水が適切に管理され、維持管理の労力が軽減されており、農業生産性の向上につながっている。

また、農業者の高齢化や後継者不足により農家戸数が減少するなどの全国同様の課題があるなか、本地区ではこれまで担い手への農地の集積・集約が滞りなく行われており、本事業に基づいた関連事業の効果が見受けられる。

さらに、循環かんがい施設を整備して印旛沼への排水を最小限とすることで流域の水質保全を図っており、印旛沼流域における持続的な水質保全の効果が期待される。

近年、ナガエツルノゲイトウの繁茂が課題となっているが、駆除活動の推進や対策施設の整備も予定されており、引き続き地域の実態に応じた対策を行うよう努められたい。

また、更なる事業効果の発現に向けて、関係機関と連携して大区画ほ場整備等の推進、循環かんがい施設の効果検証に努め、引き続き環境との調和、事業コスト及び維持管理費の低減にも配慮のうえ着実に事業を推進されたい。